

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動状況に合わせて、部屋を分けて活動している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準の人数は確保している
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			車椅子の児童は一階で過ごせるがスペースは狭い。トイレや階段は配慮が必要。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	○			毎朝掃除、アルコール吹きなど清潔に保てるようにしている
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個人目標や全体目標を定め、日々の支援ん意当たっている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			アンケートを配布し、業務改善に繋げられるように努力している
	⑦	事業所向け事故業化表及び放射向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか		○		インスタグラムでは、事業所の様子などが見られるようにしているが、自己評価の公開はしていない
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		支援センターの職員の方が、モニタリングに来ている
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1,2回の職員会議や研修を行い、参加できない職員には資料配布をしている
適切な 支援 の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			職員の間で情報を共有して計画書の作成を行なっている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			職員にも情報を共有し、適切な支援につながるように活用することを考えている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内訳が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			職員の間で、子どもたち一人一人の計画を理解し、支援行なっている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議を通して、プログラムやイベント活動を考え、実施している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々に合わせた活動プログラムを設定し、実施して修正を取り入れている

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて、個別と集団を組み合わせ、プログラムを行なっている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝礼をして、リーダーや担当等を決め確認し合っている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に終礼を行い、必ず振り返りを行い、確認しあっている
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌として記録を残して、職員間で見返せるようにしている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			代表が参加し、報告してくれている
	㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか		○		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援がこう(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育所、学校訪問を行い、情報共有し合っている
	㉖	移行支援として、小学校や特牛園学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉗	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもとともに活動する機会があるか		○		
	㉙	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		協議会へは代表が参加している
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			年度末にペアレントトレーニングの機会を設けて、相談などを聞き、保護者・子供にとって良いものを見つけ出し、伝えている
	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援街ドライの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	○			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		子ども食堂を通して、保護者同士仲良くなったりと話す場がある
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護視野に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか		○		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか	○			定期的に、避難訓練を行なっている
	④③	事前に、服用や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	○			発作時の対応等マニュアルを置き対応できるようにしている
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			終礼時に職員で共有しあい、日誌にも残し見返すこともできる
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の研修のほか、職員同士でも話し合いをしたりしている
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		